



岡山フルートの会会報

2011年3月号 第145号

HP:<http://www.okayama-flute.net/>

E-mail:okayama-flute@mail.goo.ne.jp

少しずつ暖かくなってきました。気が早いかもしれませんが、桜の開花が楽しみになってきました。春を待つ大地には大きなパワーがあるように思えてきます。今月はいよいよフルートフェスティバル本番。この力を借りて、練習に励んでいきたいものです。

星っさんコーナー（その62）

「くるみ割り人形の思い出」

顧問 星島明郎

第32回岡山フルートの会（日本フルートフェスティバル in 岡山）演奏会に向けて岩崎会長指揮の「くるみ割り人形」の練習にも熱が入って来ました。私は、この「くるみ割り人形」のバレエには特別の思いがあります。と言うのは、昭和32年大学卒業後、大阪の関西交響楽団に入団した年、4月、6月、11月と3回にわたる演奏旅行で通算40回近い公演に参加したからです。バレエは貝谷八百子バレエ団、指揮者は宮本政雄さんでした。その最初は、入団から僅か6日目の4月9日、地元大阪から始まって名古屋・京都・滋賀など近畿地方一帯と、徳島・高松など四国方面。次が6月1日から岡山・広島・宇部など中国地方。そして3回目は11月に福岡・長崎・鹿児島・宮崎など九州の9都市めぐりで、全20都市以上に及びました。当時は「労音（勤労者音楽協議会）」華やかな頃で会員数も多く、名古屋・和歌山・岡山・鹿児島はじめ、同じ会場で3回公演以上の都市も珍しくありませんでした。当時の関響は、年間150回を超える本番ステージをこなす大忙しのオーケストラで、しかも私のような新入団員にとっては初めて吹く曲ばかり。毎日毎日を初見演奏に追われる中、同じ出し物で旅に出ることは、地方の皆さんには申し訳ないけれど、息抜きの気持ちもありました。「旅の恥はかき捨て」（本当はいけないことですが）の気持ちも手伝って、いろいろな奏法や替え指をテストしたり、アンサンブル相手の音程癖などを探ったものでした。この旅行は、最初は2ndフルートで出発したのですが、途中から1stフルートを任されて、不安と嬉しさの同居する中、指揮者とメンバー達に励まされながら思いっきり吹かせて頂いた思い出は、今でも忘れることが出来ません。特に記憶に残っているのは「序曲」が始まると直ぐ出てくる2回のフルートソロ。フルートの後を受け継いでくれるクラリネットの名手宮本さん（関響—大阪フィル—大阪音大講師）に迷惑のかからぬように、演奏前にくり返しくり返し練習した事も懐かしく思い出します。しかし次第に慣れてくると、ステージ上の踊り手をボックス内から見上げながら吹く余裕も出てきました。そしてバレエの楽しさ素晴らしさをふんだんに味わい、バレエが大好きになりました。バレエは快いリズムと美しいメロディーに溢れています。又オペラと違って言葉（イタリア語・ドイツ語・フランス語等）が理解出来なくても、パントマイム演技で意思表示が全て理解できるので、本当に楽しいものです。特にチャイコフスキーの3大バレエ「白鳥の湖」「眠れる森の美女」も「くるみ割り」同様くり返し演奏させて頂いたので、今でも大好きなバレエです。

固い決心で飛び込んだフルート人生のスタート、22歳の青春の全てをかけて出発した頃に出会った「くるみ割り人形」は、私にとってこの上ない修行の場でもありました。

#演奏会案内

♪高松中学校吹奏楽部創部50年記念演奏会

日時：3月26日(土)14:00開演(13:00開場)

会場：岡山シンフォニーホール

入場料：1,000円(全自由席)

曲目：モスクワのチェリョム・シュカから/D.ショスタコービッチ 他

吹奏楽：岡山市立高松中学校吹奏楽部、高松中学校吹奏楽部創部50年記念吹奏楽団

指揮：星島、有道、奥原、安部、海野、土師(敬称略)

フルート：星島、熊瀬、岡、伊豆丸、白石、小西、三上、秋山、山口、小野、小林(敬称略)

問い合わせ：090-8608-6280 熊瀬さん

#3月のフルート研究会は、セレーナの練習のため、お休みします。

#演奏会情報は3月25日(金)までに野崎さん(会報係チーフ)に連絡してください。

野崎さんの連絡先：MegMeg0_0v@yahoo.co.jp

【会報の封筒詰めのお知らせ】

4月号の会報の封筒詰めを、4月5日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。

会員の皆さまには、ぜひ、封筒詰めのお手伝いをお願いします。